

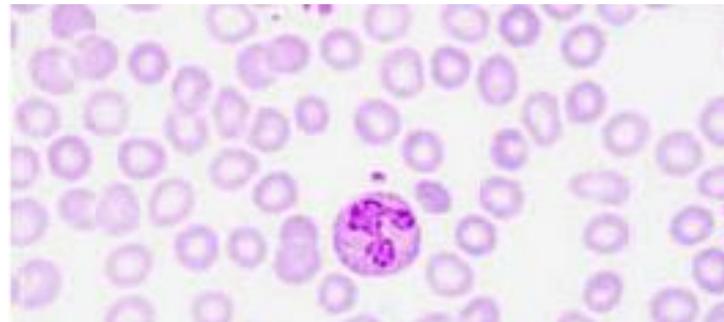
6月17日朝の勉強会 テーマ「尿検査」

担当Y先生

60歳代女性 発熱

色調	黄色		
混濁	(2+)		
○尿定性		○尿沈渣	
比重	1.010	赤血球	20~29/H
pH	6.0	白血球	100~/H
蛋白	1+	扁平上皮	1~4/H
糖	—	尿路上皮	1未満/H
ケトン体	—	尿細管上皮	1未満/H
潜血	2+	細菌	2+
ウロビリノーゲン	Normal	顆粒円柱	(2+)
ビリルビン	—		
亜硝酸塩	+		
白血球反応	3+		

所見は？



尿沈渣：尿中細菌

	感度	特異度
WBC > 0個 / HPF	96	47
WBC > 5個 / HPF	81	64
WBC > 10個 / HPF	80	65
WBC > 50個 / HPF	71	89
WBC > 200個 / HPF	54	94

Take home message

亜硝酸塩は感度が低く特異度が高い

尿沈渣は信頼性が高く、UTIの可能性を段階的に評価できる

病歴や身体所見と合わせて総合的に考える必要がある

後日 尿培養 E.coli $\times 10^7$